

受診遅れ56人死亡 14年

お金がなくて医療にかかれず、亡くなる人が相次いでいます。全日本医療機関連合会（全日本医連）の調査で分かっただけでも、2014年に56人ものおりました。参院で審議される医療保険制度改悪法案は、こうした事態に拍車をかけるものです。

搬送されたときは直腸がんの末期で翌日死亡しました。

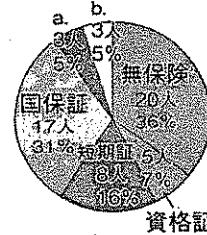
国保料の滞納で窓口全額負担の資格証になった50代男性は、糖尿病の治療を中断。行政の対応に知人は「見殺しにするのか」と憤ったといいます。入院先で肝細胞がんが判明し、死亡しました。

夫と死別後、生活苦に陥った60代女性は国民健康保険料の滞納で無保険状態となり、意識不明で無保険者や資格証、有効期間が短い短期証の人々が59%を占め、うち79%が保険料が高すぎるのが原因でした。65歳未満の人は88%が無職か非正規雇用で、入院してわずか数日で死亡した事例は13件ありました。

民医連は、保険料が払えないため保険証が窓口に留め置かれるなど「国民皆保険」といいながら、

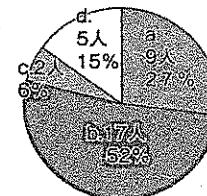
ストップ 医療改悪

①手遅れで死亡した人の保険証種別



a.後期高齢者医療
b.その他 (協会けんぽ等)

②無保険・資格証・短期証となった経緯 (33人)



a.保険料が高すぎるなどで退職、失業後に国保等手続きをしなかった
b.国保料滞納で資格証となり、留め置き等のため事実上未交付
c.転居手続き等ができず国保未交付
d.不明

拍車かける医療改悪法案廃案を

事実上、無保険者がついりだされていると指摘。保険証があつても高い窓口負担で手遅れになる事例があると強調し、生活保護の抑制などで病気や救済の道が閉ざされると批判しています。

国保は国庫負担が減らされるもとで上がり続け、高すぎて払えない人が多数出ているのが実態です。滞納は全国で3360万世帯、資格証・短期証は140万世帯にのぼります。民医連は国保料の引き下げや医療の窓口負担軽減、生活保護制度の充実を訴えています。

保険制度改悪法案では、改悪法案では、入院時食費や、紹介状なしの大病院受診時の負担増を盛り込んでおり、これと合強化をすすめようとしています。都道府県が市町村の「納付金」を決めて標準保険料率」を示し、保険料軽減のために市町村がおこなっている一般会計からの繰り入れをやめさせる計画です。

國保の財政運営を市町村から都道府県に移して、保険料値上げと取り立て強化をすすめようとしています。都道府県が市町村の「納付金」を決めて標準保険料率」を示し、保険料軽減のために市町村がおこなっている一般会計からの繰り入れをやめさせる計画です。

改悪法案では、入院時食費や、紹介状なしの大病院受診時の負担増を盛り込んでおり、これと合強化をすすめようとしています。都道府県が市町村の「納付金」を決めて標準保険料率」を示し、保険料軽減のために市町村がおこなっている一般会計からの繰り入れをやめさせる計画です。

改悪法案では、入院時食費や、紹介状なしの大病院受診時の負担増を盛り込んでおり、これと合強化をすすめようとしています。都道府県が市町村の「納付金」を決めて標準保険料率」を示し、保険料軽減のために市町村がおこなっている一般会計からの繰り入れをやめさせる計画です。

改悪法案では、入院時食費や、紹介状なしの大病院受診時の負担増を盛り込んでおり、これと合強化をすすめようとしています。都道府県が市町村の「納付金」を決めて標準保険料率」を示し、保険料軽減のために市町村がおこなっている一般会計からの繰り入れをやめさせる計画です。